

デジタルインボイス 岐阜モデルが目指すもの

岐阜県デジタルインボイス研究会 セミナー

スケジュール

13:30～ 挨拶

研究会座長 松島 桂樹

デジタル庁 国民向けサービスグループ 企画官
加藤 博之 様

13:35～ 研究会の活動状況

13:40～ 「海外における電子インボイスの活動状況」

株式会社野村総合研究所 フェロー
未来創発センター 制度戦略研究室長
梅屋 真一郎 様

14:20～ 「『岐阜モデル』が目指すもの」

研究会座長 松島 桂樹

デジタルインボイス 岐阜モデルが目指すもの

岐阜県デジタルインボイス研究会 セミナー

研究会の活動状況

1. 中小企業のバックオフィスの現状

○県内中小企業においても、経理業務などバックオフィス業務には、大きな課題を抱えている。

<第2回研究会 長尾委員の発表資料から>

中小零細企業の「アキレス腱」は、経理業務

小規模零細企業（従業員1～10名）

- ①経理は「手書き」
- ②受発注は「FAX」がメイン
- ③経理の高齢化
- ④ドンブリ勘定
- ⑤慢性的な人材不足

中小企業（従業員10～100名）

- ①経理業務の属人化
- ②増え続ける書類の山
- ③複雑化する勤怠管理
- ④月次処理が遅い
- ⑤データ連携を活かせていない

2. 昨年度、県内企業の実証（WEB-EDIによる）

○既に、岐阜県では、こうした問題を解決しようと地元金融機関と連携し、食品製造販売企業と惣菜メーカーとの間で、受発注から売掛金消込までをほぼ自動化できるシステム（WEB-EDI）を構築し、実証も行った。（令和4年度）

令和4年度岐阜県IoTコンソーシアムワーキンググループ補助事業

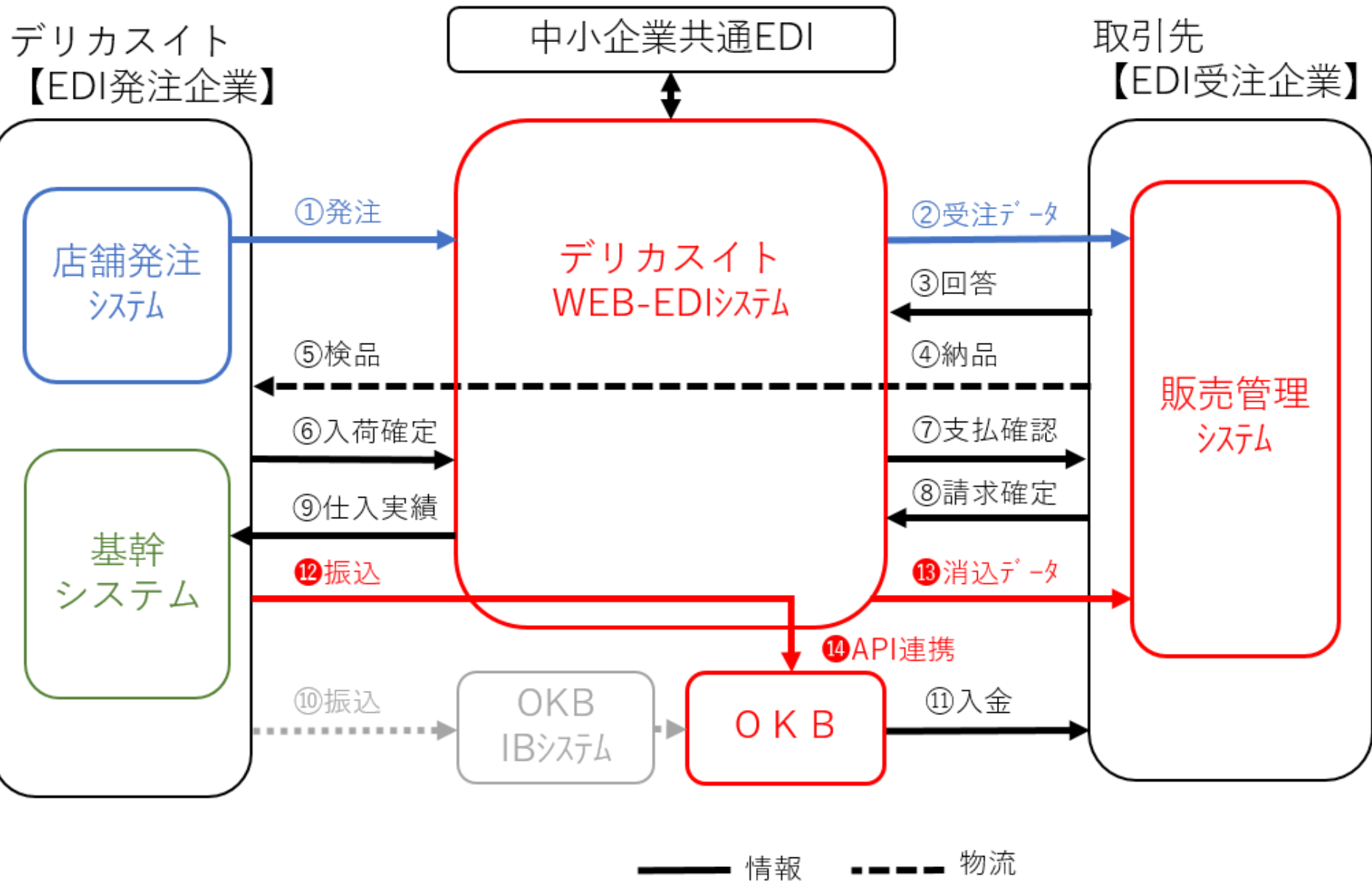
（1）メンバー：(株)デリカサイト、(株)ミライコミュニケーションネットワーク、(株)大垣共立銀行

（2）株式会社デリカサイトの課題

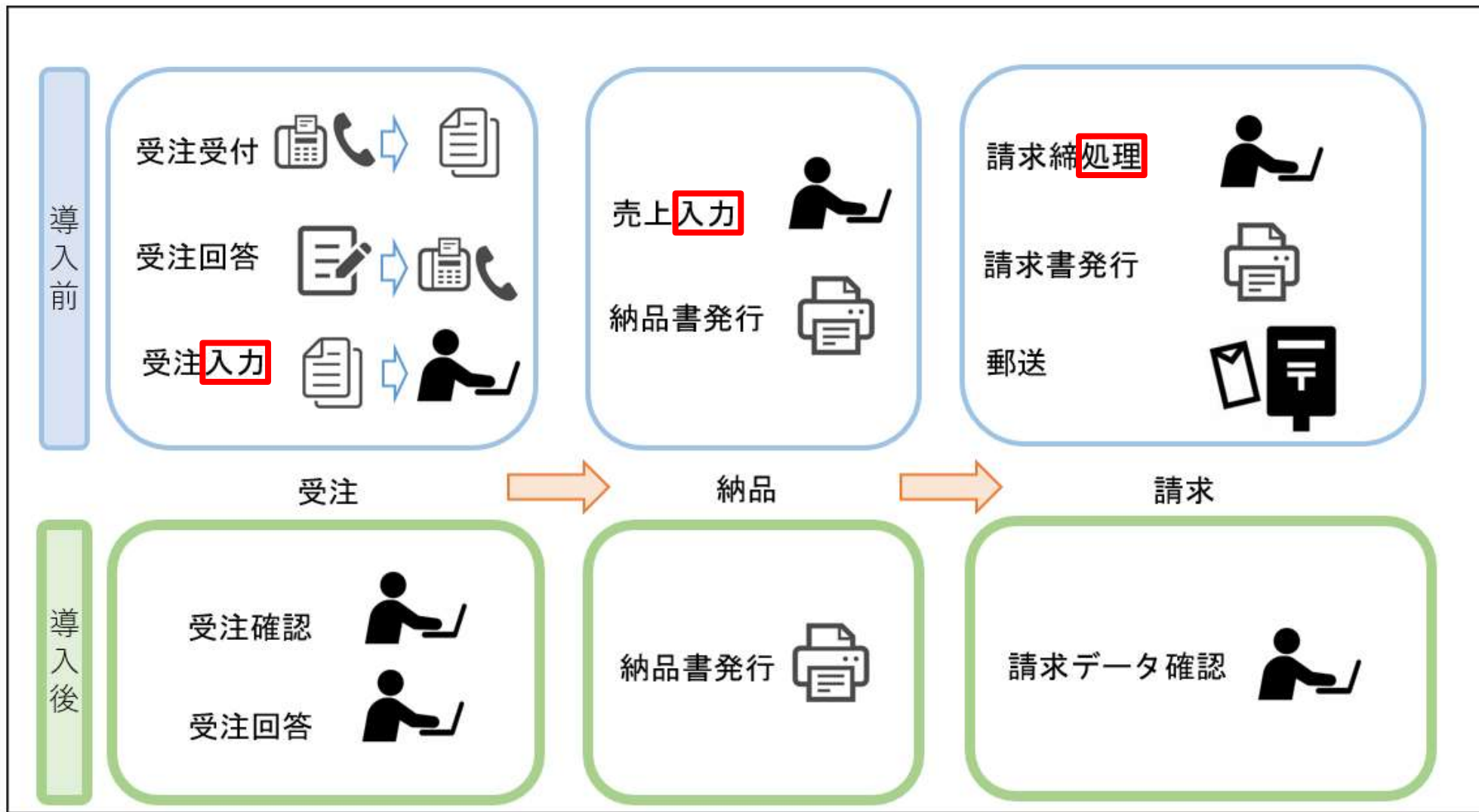
- ・ 毎日、70店舗では、食材発注データを入力し、本部へファイル転送。
本部はとりまとめ、受注先150社に4000アイテムを発注。
- ・ 食材であることから、常にスピードと円滑な取引が求められ、発注書を毎日1時間以上かけてFAX（手作業）で送付。

（3）補助事業の成果

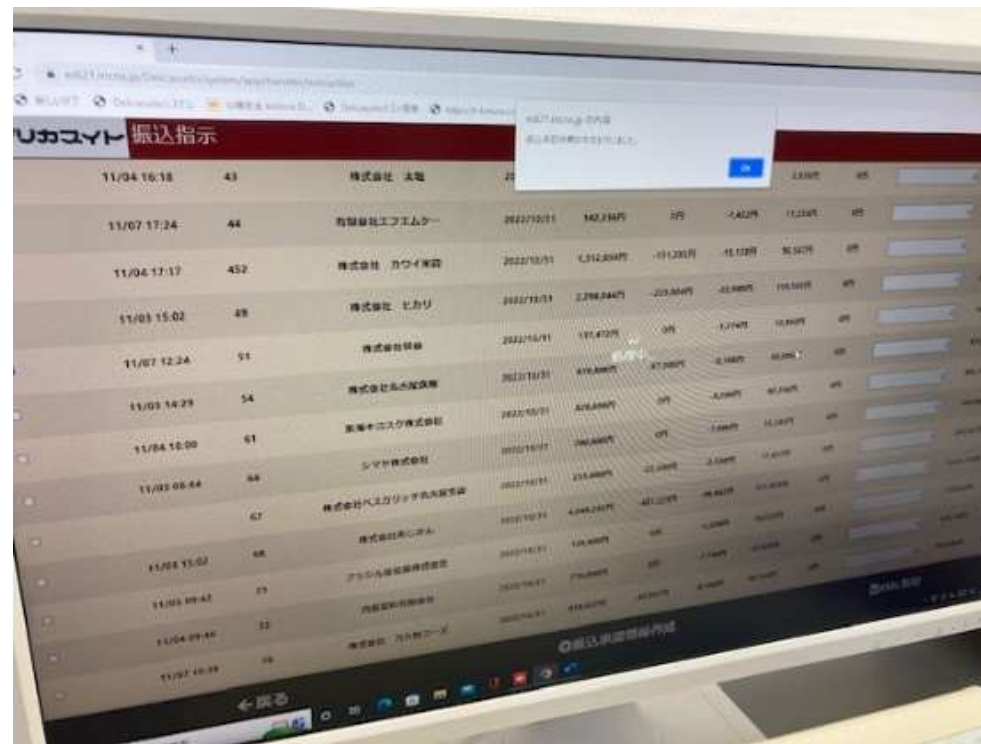
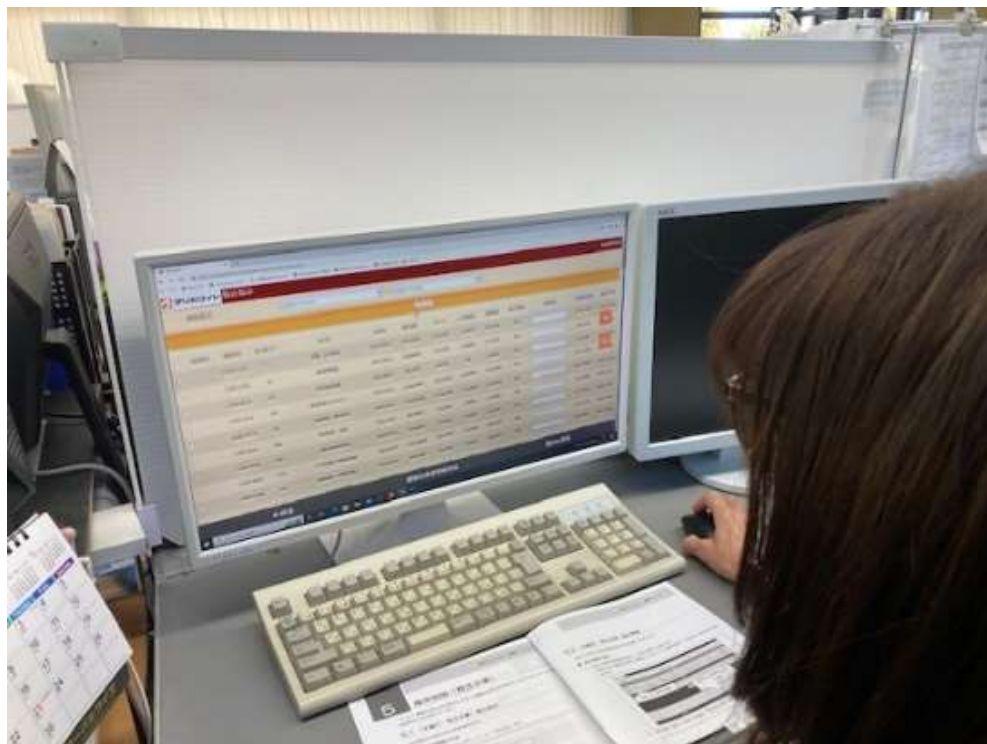
- ・ 発注先業務時間75%削減、受注先業務時間62%削減
- ・ 受注先入力業務がゼロに
- ・ ワンクリックで、受注先企業の銀行口座に振り込まれ、売掛金の消込ができることを実証



【受注企業業務の軽減】



振込テスト2回目 2022年12月20日14:00開始
「デリカサイト」から「受注企業」へのAPI連携による振込動作を確認



WEB-EDIに関係しない企業に向けてはどうしたらよいのか？

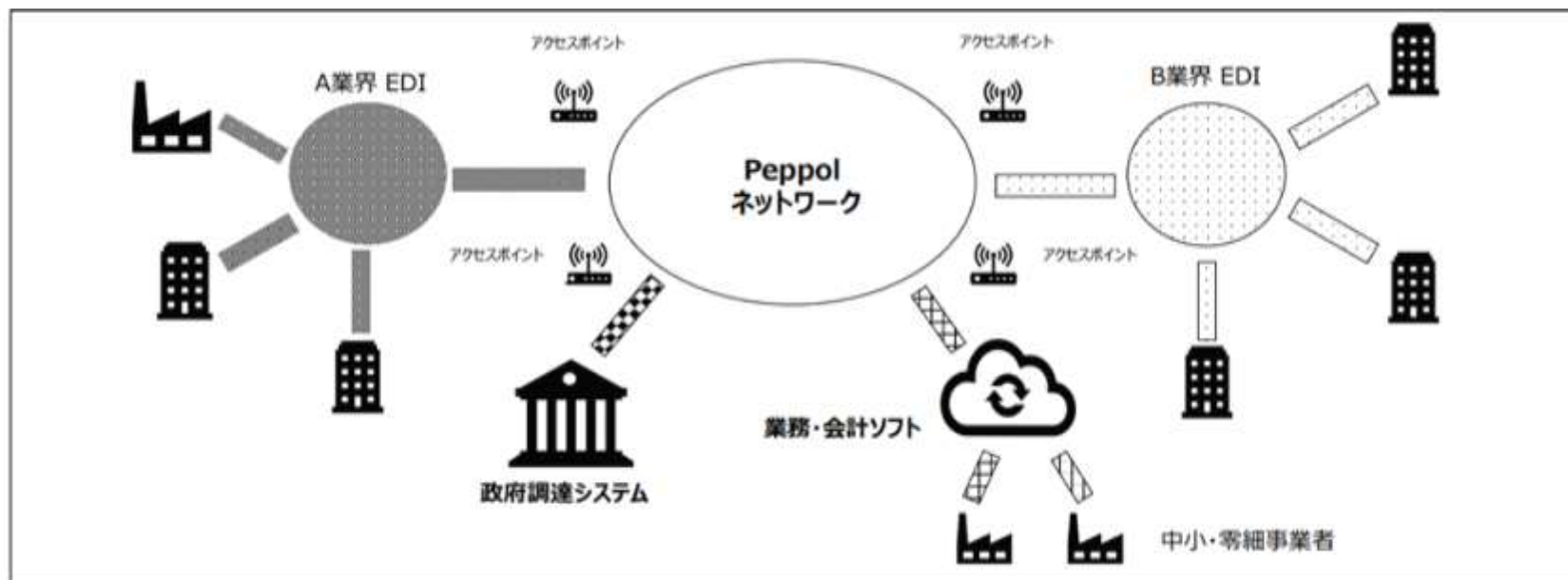
3. まず、デジタルインボイスとは？

- デジタルインボイスとは、適格請求書（インボイス）をデジタルデータ化したものにとどまらず、どの取引先でも使えるよう、「標準化」されており、入力を繰り返すことなく、受発注から入金消込までの取引全体の会計処理の自動化が可能となるデータのこと。

4. デジタルインボイスに関連する最近の動き

① JP PINT（ペポル）

○昨年10月、デジタル庁はネットワーク上でやり取りするための国際的な標準仕様「ペポル」をベースとした、日本におけるデジタルインボイスの標準仕様「JP-PINT」を公表。



4. デジタルインボイスに関連する最近の動き

②DI—ZEDI

○さらに、今年4月、一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークは、このJP PINTに対応した金融EDI情報標準「DI—ZEDI」を公表。

- その特徴は、「入金消込に必要な最低限の情報に限定した」こと。



金融EDI情報標準「DI-ZEDI」の策定

- 請求プロセスのデータ標準化（JP PINT）を受け、ベンダーの開発負担軽減およびデータの相互運用性を実現するため、決済プロセスのデータ標準化の検討に着手。IPA-DADC「決済テクニカルミーティング等とも連携しながら検討を進め、2023年4月に、デジタルインボイス標準仕様「JP PINT/JP BIS」に対応した金融EDI情報標準「DI-ZEDI」を策定・公表。DI-ZEDIの項目は下表のとおりであり、入金消込に必要な最低限の情報に限定。
- 全銀ネットの関係会合（WG・次世代TF・有識者会議）においても、有識者から、政府の後押しも得ながらデジタルインボイス標準仕様（JP PINT/JP BIS）に対応したDI-ZEDIが積極的に利用されることを期待するコメントあり。
- なお、既存の「S-ZEDI」（18項目）は、発展的に解消し「DI-ZEDI」に一本化していく方向。

金融EDI情報標準「DI-ZEDI」の項目		入力	項目属性
請求書タイプコード	<IBT-003 : Invoice type code>	必須	半角数字 3 文字
請求書番号	<IBT-001 : Invoice number>	必須	全半角35文字以内
請求書発行日	<IBT-002 : Invoice issue date>	必須	半角10文字
請求金額（税込）	<IBT-112 : Invoice total amount with TAX>	任意(推奨)	半角18文字以内
売手企業の登録番号	<IBT-031 : Seller TAX identifier>	必須	半角英数字14文字
買手企業の登録番号	<IBT-048 : Buyer TAX identifier>	任意(推奨)	半角英数字14文字
振込手数料負担（依頼人負担、受取人負担を入力）		任意	半角数字 3 文字
備考（振込に関する買手企業の連絡先等を入力）		任意	全半角140文字以内

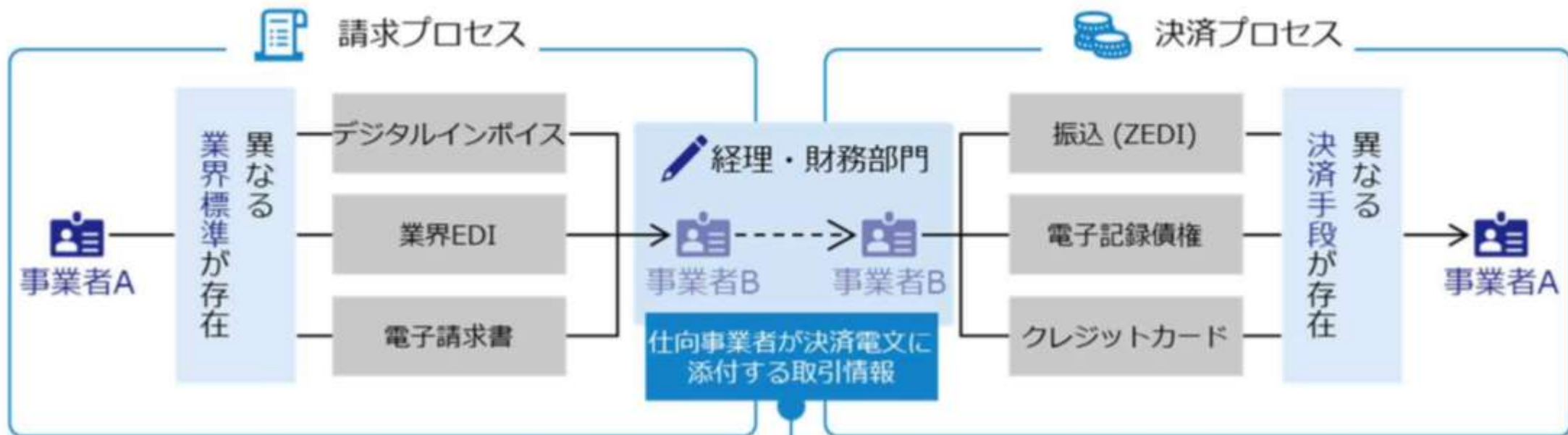
※ <>内は、情報項目に対応するJP PINTの記載内容

4. デジタルインボイスに関連する最近の動き

③政府相互運用性フレームワーク（GIF）の金融分野実装データモデルの策定

○先月末、デジタル庁はGIFの金融分野実装データモデルを策定し、その中で「消込データモデル」を示した。

- 請求情報を特定する項目を標準化することにより、相手事業者に利用する請求手段、決済手段が異なる場合においても、事業者は意識することなく、デジタル完結・自動化による消込みが可能となる。
- また、その想定適用対象には①企業間連携のみならず、②官公需取引が含まれている。



🎯 請求プロセスと決済プロセスの対応関係を明確にするための消込データモデルを設定

💭 想定適用対象 ① 企業間取引 ② 官公需取引

消込データモデルのコンセプト

5. そうした中、岐阜県が進める「岐阜モデル」

○本年度から、岐阜県では、地元の金融機関のインターネット・バンキングの認証を活用して、一度入力したデータが、発注企業、受注企業間を動くことにより、発注から相手先への振込、売掛金消込までの事務処理を自動処理化（確認のみ）する仕組みの構築を始めた。

- いわば、「経理処理全体の自動化」の仕組み。
- これが、岐阜モデル。
- これは、県と地元金融が連携して取り組むことから「官金連携」モデルでもある。
- 「FAXの山」「何度も入力、その都度チェック」「転記ミス、入力ミス、送信ミス」「多画面問題」を無くしていくもの。

6. 岐阜モデルの特徴（まとめ）

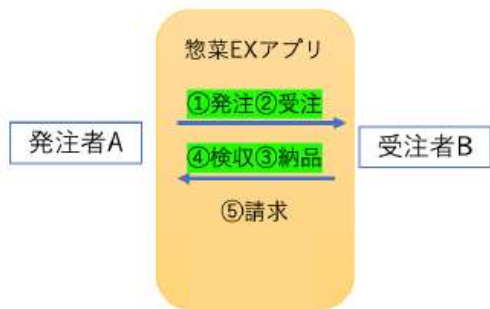
○WEB—EDI を活用する企業であっても、電話とファクスを活用している企業であっても、つまり、全ての企業が、受発注から、振込み、売掛金消込みまでの自動化（一度の入力のみ）できる仕組みのこと。

- ・そのため、国、金融機関等の動向を踏まえている。

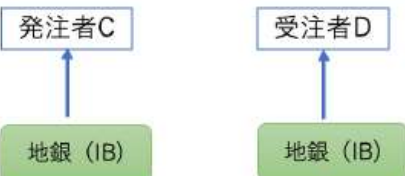
実施計画

システムの概要

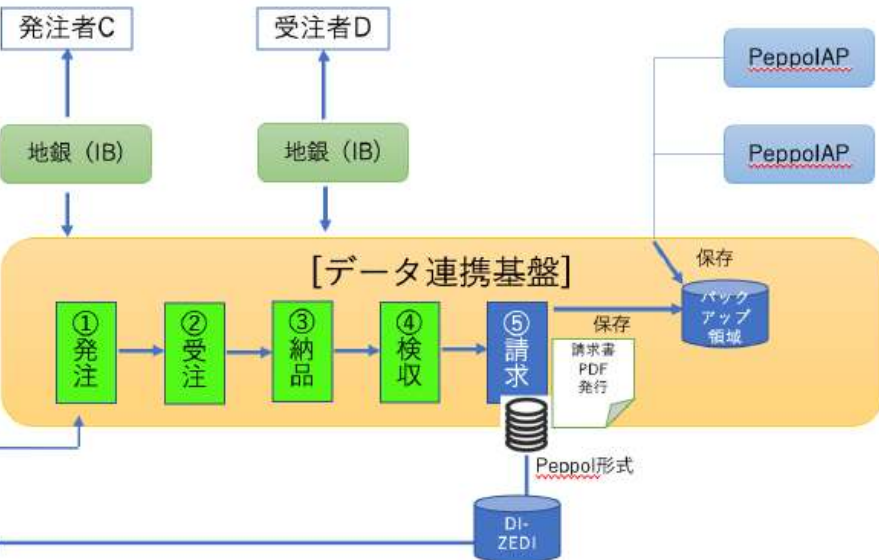
1. WebEDI利用企業



2. WebEDI未利用企業



3. Peppolプロバイダ



- ①データ連携基盤の構築
- ②Web-EDI利用者・未利用者による発注から請求までのデータ連携基盤の利用実証
- ③PeppolAP(アクセスポイント)を構築し他のPeppolAPユーザと連携実証する
- ④金融機関との連携を検討し、振込指示から売掛金消込みを自動化する

【用語説明】

IB：インターネットバンキング

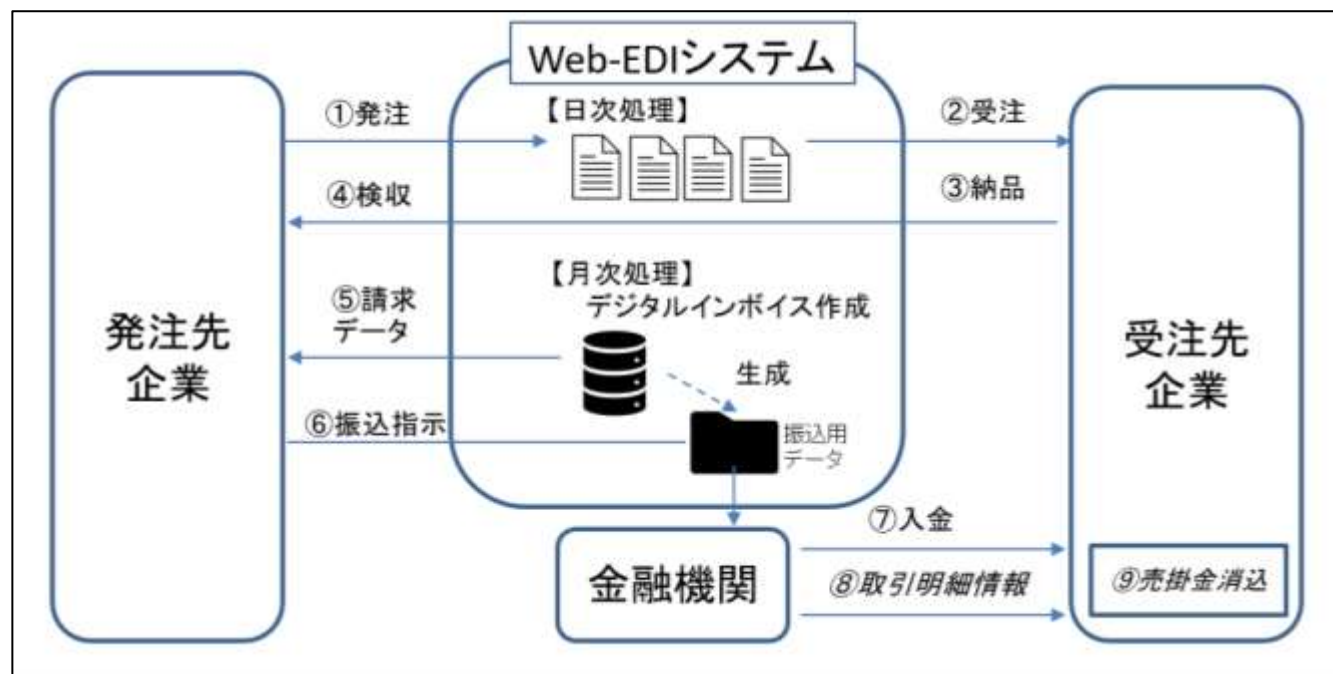
ZEDI：全国銀行資金決済ネットワークが提供する金融機関用のネットワーク

DI-ZEDI：ZEDIのXML標準フォーマットのうち、デジタルインボイスに対応したフォーマット

7. 「会計事務デジタル化勉強会」

(岐阜県庁の会計のデジタル化)

○また、県内の大口消費者でもある「岐阜県」も、自らの調達事務から、請求書受理、支払いまでの一連の手続きについてもデジタル技術を活用し、県及び県内企業双方の業務効率を図る検討に入った。



デジタルインボイス 岐阜モデルが目指すもの

岐阜県デジタルインボイス研究会 セミナー

スケジュール

13:30～ 挨拶

研究会座長 松島 桂樹

デジタル庁 国民向けサービスグループ 企画官
加藤 博之 様

13:35～ 研究会の活動状況

13:40～ 「海外における電子インボイスの活動状況」

株式会社野村総合研究所 フェロー
未来創発センター 制度戦略研究室長
梅屋 真一郎 様

14:20～ 「『岐阜モデル』が目指すもの」

研究会座長 松島桂樹

デジタルインボイス 岐阜モデルが目指すもの

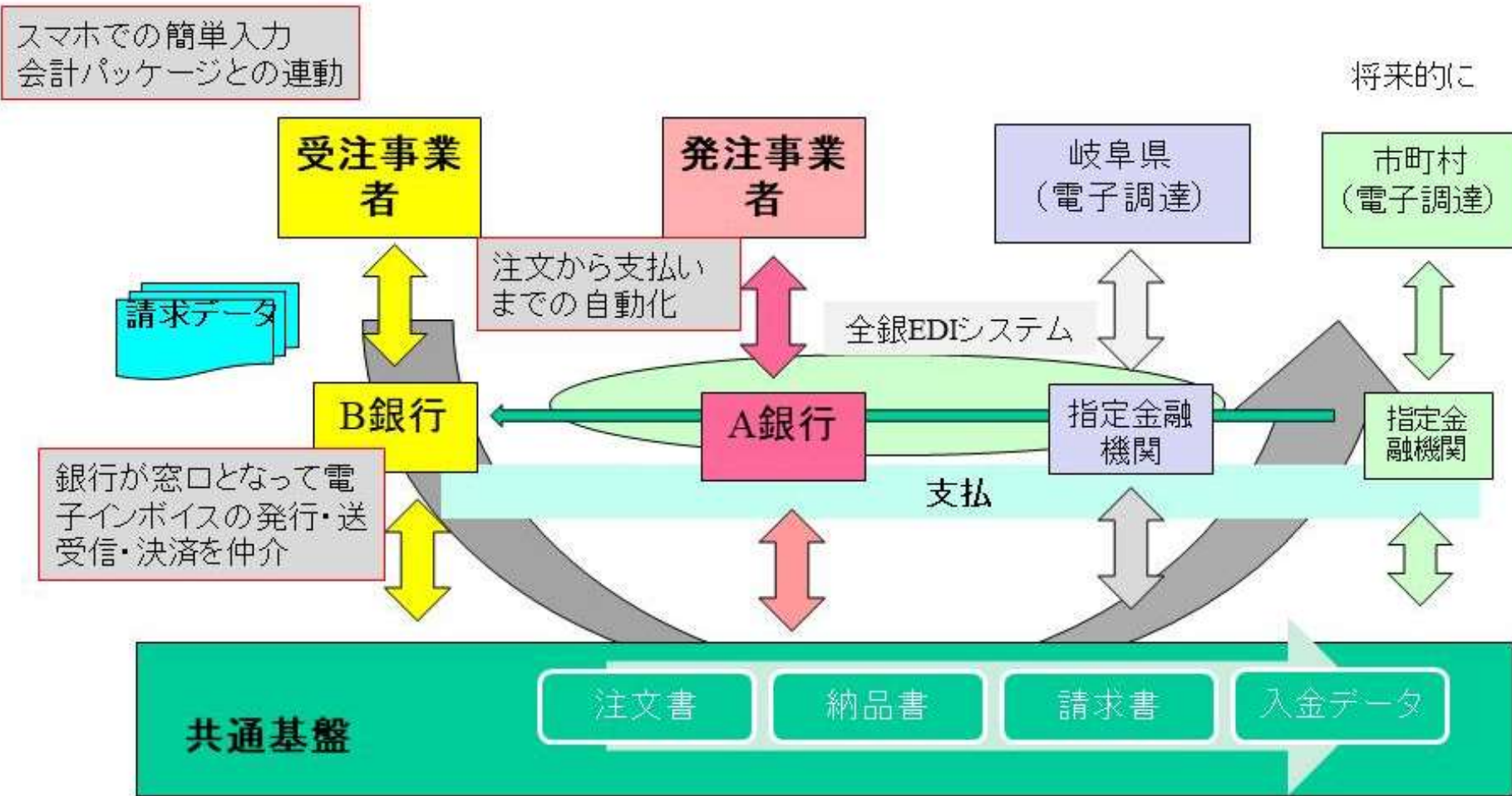
「海外における電子インボイスの活動状況」

株式会社野村総合研究所 フェロー
未来創発センター 制度戦略研究室長
梅屋 真一郎 様

デジタルインボイス 岐阜モデルが目指すもの

「『岐阜モデル』がめざすもの

デジタルインボイス活用モデル推進事業(岐阜モデル)



- 「適格請求書」の発行・送信・受信・保管を共通基盤が代行
- 共通基盤にて銀行法人口座と事業者登録番号をひも付け
- デジタルインボイス標準Peppol、全銀EDI標準ZEDIを採用

デジタルインボイス 岐阜モデルを目指すもの

岐阜県デジタルインボイス研究会 セミナー